

令和6年9月27日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和6年 9月 24日（火）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1

【行政からの伝達事項】

- ・熱中症・コロナ等体調管理に注意してください。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 89歳 平均介護度 2.3（1～5）

【活動状況】

- ・散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・新聞折り・塗り絵・壁画作り・体操・下肢訓練
- ・季節行事～・美濃路ひまわり鑑賞・敬老会
- ・地域行事～草刈り参加

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 5件（離設～3件・転倒～2件）

【職員研修】

- ・実務者研修～職員 1名参加
- ・感染症 BCP 研修・訓練

【身体拘束適正委員会】

- ・抗精神薬使用の方の状態を確認し、検討した

【その他】

○地域の方より

・地域行事でミニデイ開催した。音楽療法・会食があり約 40 名の方が参加した。音楽療法ではエレクトーンの音色がとても良く、歌や楽器と参加型で皆さんが楽しむことが出来た。又会食も地域の方が準備されコロナ前の様な雰囲気での楽しい会となった。



・ホームでも以前は音楽療法を行っていたが、コロナで中止したままになっている。入居者の方にとって以前のように音楽療法で楽しい刺激となる支援や地域やボランティアの方の訪問等の行事は重要だと思う。

この度、地域でミニデイを開催され、音楽療法・会食と楽しい会となったことを聞き、ホームでも少しずつ外部の受け入れや地域行事への参加を再開していきたいと思う。

○災害・感染症 BCP 研修・訓練等、他にも施設としてしなくてはいけないこと様々な事が年々増している。小規模で少人数の職員で経営しているグループホームでは追いつかない状態であるが、すべきことなので入居者の方のケアが縮小する事がないよう試行錯誤しながら行っている。

何か良い方法がないか、他の施設等に聞きながら何とか行っている状況である。



地域の方より

・一通りしようと思うと大変だと思うので、部分的に少しずつしていくと良いのでは。良い方法がないかいつでも相談にのりますという意見があった。

○地域行事について

- ・11月3・4・5日 大元神社の祭り
- ・年末 しめ縄作り
- ・2月 ふれあい会館祭り

ホームで作品等があれば展示参加してくださいとのことで、入居者の方の作品や壁画等展示参加する予定